

1. 基本情報

- (1) 国名：インド
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アッサム州
- (3) アッサム州保健システム強化計画(Project for Strengthening Health System in Assam)
- (4) 計画の要約：本計画はインド北東部アッサム州において、中核的医療拠点となる二次、三次医療機関や医科大学を中心に医療機関や教育機関の整備、改善を通じて体制強化を行い、地域住民の医療サービスへのアクセスとサービスの質の改善を図り、もって同州のユニバーサルヘルスカバレッジの実現に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

インドは、民主主義や人権、法の支配といった基本的価値を共有するインド太平洋地域の主要国の一つであり、首脳の年次相互訪問も行われている。2018年10月のモディ首相訪日時には「日印の共通のビジョンに基づき、自由で開かれたインド太平洋に向けて協働していくという揺るぎない決意」を改めて述べるなど、両国の関係強化が着実に進んでいる。また、アジアとアフリカという2つの大陸をつなぐインド洋に面し、インド洋シーレーンの中央に位置するインドは、我が国が掲げる「自由で開かれたインド太平洋」の鍵となる国である。円借款をはじめとするODAを通じて、アジアで最大の民主主義国であるインドの経済・社会開発の取組を支援することは、同国との特別戦略的グローバル・パートナーシップを強化するとともに、我が国にとって望ましい国際環境を構築する上で非常に重要。

加えて、インド政府は、同国から東南アジアへの連結部分となるインド北東部を重視するアクト・イースト政策を提唱しており、日本に対しては、北東部開発におけるパートナーとなってほしいとの強い期待を示している。インド北東部支援の推進は累次の日印首脳会談で合意しており、2017年9月の日印共同声明では、「日印アクト・イースト・フォーラム」立ち上げに満足を持って留意するとともに、2018年10月の日印首脳会談では同フォーラムを通じた北東部の発展に向けた進展が歓迎された。本計画は、「自由で開かれたインド太平洋」とアクト・イーストが収れんするインド北東部への支援を具体化するものであり、実施の意義は大きい。

- (2) 当該国における保健セクター／アッサム州の現状・課題及び本計画の位置付け

インド政府は、国家保健プログラム(National Health Mission)の実施等を通じ一次医療施設の整備や医療人材育成等に取り組んできており、幼児死亡率(千人あたり48人)や妊産婦死亡率(10万人あたり174人)が、低位中所得国平均(各53人／千人、251人／10万人)を下回る等、保健指標の改善がみられる(世銀、2017)。しかし、上記指標も2030年のSDGs指標目標(各11人／千人、70人／10万人)と比べ大きく乖離がある他、人口当たり病床数、医療関係者数共に世界平均を下回り、依然として医療体制強化は課題である。

アッサム州は保健分野指標である SDGs ゴール 3 の達成状況で全州中下位 2 番目に位置付けられ (NITI Aayog、2018)、医療システムは脆弱で、体制に課題を抱えており、新型コロナウイルスの感染者数も約 16 万人に達している (9 月 24 日時点、アッサム州政府)。とりわけ、医療機材不足や老朽化の問題が多くみられる他、医療従事者数は 10 万人あたり 126.81 人と、世界的にみて低水準にあるインド平均 (同 220.96 人) の 6 割程度しかいない (NITI Aayog、2018) など医療人材不足も深刻な状況にある。同州には 6 か所の三次医療施設 (医科大学病院) があるが、そのうち高度な専門診療や脳・心臓の手術ができるのは一か所に限られ、地域の患者は少しでも質の高い医療サービスを求め、症状の軽重に関わらず同州内都市部の三次医療機関に集中している。そのため、元来の二次、三次医療の限定的なキャパシティと相まって更なるサービスや機能低下が生じている。さらに、公的医療機関は診療費が無料であるものの、真に治療が必要な患者を十分に受け入れられず、多くの患者が診療費の高い私立病院等での受診を余儀なくされている。このような公的医療システムの機能不全は、結果的に患者の自己負担増大に繋がっており、地域住民の生活を圧迫し、特に貧困層の医療アクセスを制限している。

かかる状況を踏まえ、アッサム州政府は国家保健プログラムを通じ、ユニバーサルヘルスカバレッジの実現を目指して、特に一次医療体制の強化に取り組んできたが、二次、三次医療機関の体制・運営強化や、医療機関間の連携強化を通じた医療システム全体の強化、負荷平準化は、依然として課題となっている。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、同州医療機関に更なる負担がかかっており、感染症対策の観点からもシステム強化が強く求められている。本計画はアッサム州において、中核的医療拠点となる二次、三次医療機関や医科大学を中心に医療機関や教育機関の整備・改修及び体制強化を行い、地域住民の公的医療サービスへのアクセスとサービスの質の改善を図るものであり、当国及びアッサム州の保健セクターにおける重要事業に位置づけられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 三次医療施設及び教育・研究機関の整備及び関連機材整備

イ) 二次医療施設及び検診体制等の整備及び検診機材の整備

ウ) コンサルティング・サービス (組織能力強化、詳細設計、入札補助、施工監理等)

② 期待される開発効果：二次、三次医療機関及び教育・研究機関の体制強化 (病床数：(現状) 6,306 床、(目標値) 10,531 床、医科大学定員数：(現状) 726 人、(目標値) 1,200 人) により、地域住民の公的医療サービスへのアクセスとサービスの質改善への貢献が期待される。

③ 借入人：インド大統領 (President of India)

④ 計画実施機関／実施体制：アッサム州政府保健福祉局 (Government of Assam, Health and Family Welfare Department)

他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて詳細確認。

⑤ 運営／維持管理体制：アッサム州政府保健福祉局が運営／維持管理に従事する。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：アジア開発銀行は、インド全土の都市部の貧困層支援を主な目的とした融資事業を実施済（2015年～2019年）。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

パキスタン向け無償資金協力「イスラマバード小児病院改善計画」（評価年度2010年）の事後評価等では、医療機材の維持管理費用の継続的な確保の重要性が指摘されており、本計画の実施にあたっては、実施機関の医療機材管理能力、機材修理や部品交換の可能性、財務面の能力等を考慮する。

以 上

[別添資料1] アッサム州保健システム強化計画 地図

[別添資料2] アッサム州保健システム強化計画 写真



出典 : Maps of India (<https://www.mapsofindia.com/>)

「アッサム州保健システム強化計画」 写真



三次医療施設内の様子（待合室）



大学付属病院内の患者記録・書類の管理状況